

## 連絡委員・プログラム相談員合同会議

昭和47年12月26日

1. 人事異動の件：中村理恵子が化工へ転出、後任に宇野昌子を採用することになった。夜間アルバイト員を10月中旬より採用した旨報告があった。
2. 使用状況についての報告があった。
3. 理学部分室にエアコンが更新された旨報告があった。
4. 広報について
  - (1) 広報委員長より48年2月前後に3号の発刊予定との報告があった。
  - (2) 広報の内容についての意見交換があった。
  - (3) 現在の広報委員の任期がきれるが、次期委員として若干名現委員が残るよう要望があった。
5. 年末年始のカードせん孔機の使用に関してセンター長より説明があった。
6. 要望事項
  - (1) 下足、かさ等の間違い、紛失等が多いのでロッカー、かさ立てを利用するようセンター長より要望があった。
  - (2) センターのスリッパが紛失するので、もしセンター以外の場所で見かけた時は返却するよう忠告して欲しいと言うセンター長より要望があった。
7. B O S - 2 の件について -
  - (1) L I B E , L I E D の講習会を開催して欲しいという要望があった。
  - (2) B O S - 2 の勉強会等を開催したらどうかという提案があった。
  - (3) B O S - 2 の時間帯について意見の交換があった。
8. その他
  - (1) N E A C の計算機について今後どの様にするか意見の交換があった。
  - (2) 来年度の概算要求について連絡委員の意見がもり込まれるよう要望があった。それについては1月の運営委員会で概算要求案を作り、次回(2月)連絡委員会にはかかるとなる。
  - (3) ユーザーとセンター員との話し合いをもったらどうかという意見があった。  
答・3月に中級講座を開き、その後で懇談会を開きますので利用して欲しい。
  - (4) X-Yプロッター用紙の方眼入りを無地にかえるよう要望があったので検討した結果使用者にアンケートを取って決めることになった。
  - (5) S S L の内容について公開して欲しいという要望があった。  
答・非常にむずかしいが必要理由を書いて提出すれば可能の場合もあります。

昭和48年2月27日

1. センター長よりS. 48. 1. 27開催の運営委員会の決定事項の報告があった。
2. 中型機整備について：先年度の資料に基づき意見の交換があった。
3. 北陸地区大型センター概算要求書に基づき武部委員より訂正があり、それについて意見の交換があった。
4. X-Yプロッター用紙につき意見の交換があり、用紙については現在あるものを使用することになった。
5. 来年度料金について意見の交換があり、48年度料金案を運営委員会に計ることになった。
6. 中級講座講習会を3月末にB O S - 2 について行うよう検討してみる旨報告があった。

昭和48年4月25日

1. 運営委員、連絡委員、プログラム相談員、広報委員の紹介。
2. 運営委員会(S. 48. 3. 22)の報告事項。

3. センターと分室の収支決算報告

4. 講習会予定を審議の結果、次の様に決定。

F O R T R A N 初級	7 月
サブルーチンについて	9 月
B O S - 2 F O R T R A N	7 月
中級講習会	3 月

5. 時間外受付を5月1日(火)から行うにあたって時間について審議の結果受付は当分の間19時まで行う。返却は受付分については20時まで行うことに決定。

6. センターの職員のレクリエーションは工学部職員に準ずるようセンター長より要望があり、春秋各一回ぐらい工学部の行事にあわせて行うことが了承された。

7. 調査委員長よりの報告と要望

- (1) F A C O M 230-75説明会を5月11日(金)の15時30分~17時秀峯会館にて行なう。
- (2) 時定研究の件について説明があった。
- (3) システム調査を時間内に行なう様、要望があり了承を得た。

## 運 営 委 員 会 会 議

昭和48年1月27日

1. 連絡委員・プログラム相談員合同会議(S. 47. 12. 26)の報告。
2. 人事について報告：アルバイトとして小高ひろみを採用。夜間勤務として永島正隆を採用。
3. 今年度収支概略について報告。予算不足分については事務局と委員長、事務長とセンター長で折衝してみる。
  - (1) 47年度の料金は80円とする。
  - (2) 48年度の収支決算方法は従来通りとする。
  - (3) 48年度の特別講演として高木修二先生を第一候補として青野委員に一任する。
4. 概算要求について
  - (1) 北陸地区大型計算機センター概算要求については、学術会議長期研究計画委員会の計算機設置の推進案に基づき先年度の要求書を青野、平井両委員と武部調査委員とで手直しする。
  - (2) 中型機整備については、先年度のものを少し手直しする。
5. 理学部分室について：青野委員より案が出され、それについて可否は青野委員に一任し、次回の運営委員会で計る。
6. 拡充について：健全財政で進むものとし、来年度の拡充はしない。ただし、オフライン・カードパンチ機の増設を考える。
7. 人事について：中型機整備の概算要求として提出する。定員増、振替えについては非常に難かしい。
8. 48年度の運営に関すること。
  - (1) 料金について：センターとセンター長で案を作り連絡委員会に計り、次回運営委員会に提出する。
  - (2) 夜間受付・計算について：オープン使用は現段階としては難かしい。来年度は夜間職員を前期一名、後期二名としてセンター長が検討してみる。
9. 細則について：第8条の骨子は良いが室長という名称にさしさわりのあるので名称について検討してみる。
10. プロッター・アンケートについて報告があり検討してみることとなった。

昭和48年3月22日

1. 報告事項

- (1) 連絡委員・プログラム相談員合同会議（S. 48. 2. 27）の協議事項の報告。
- (2) 今年度の収支決算は約50万円の赤字の見込み。
- (3) 特別設備費でモニターテレビを購入。
- (4) 大学におけるコンピュータの利用方法についての会議報告。
- (5) 京都大学大型計算機センター会議報告。
- (6) 3月22日より近江礼子を採用。

2. 理学部分室について

- (1) 計算機修理、保守と運用については、理学部に移管することを理学部で検討してみる。  
その他事務、オペレータ等は、従来通りとする。
- (2) 理学部分室に元如春江を採用することに決定。

3. 保守契約書案を検討の結果、これを採用。

4. 特別設備費としての90万円の残金で卓上計算機を購入することに決定。

5. 北陸地区大型計算機センター概算要求書案について検討の結果了承。

6. 中型機整備案について検討の結果了承。

7. 規程について

運営委員会規程第3条第二項を次の様に変更する：「法文学部、教育学部、薬学部、がん研究所および医療短期大学部から選出された教授、助教授または講師の各部局1名」

8. 運営委員会に特定研究委員長と工学部長代理をおく。

9. 北陸地区大型設置準備委員会をおくことを検討し、4月までに案を作成する。

10. 調査委員長に武部幹氏を選出した。

11. 広報委員長に辻彰氏を選出した。

12. 工学部長代理に小堀為雄氏を部長より任命。

13. 特定研究委員長については4月の運営委員会に因ることとし、候補として武部幹、大村裕氏が推薦された。

14. センター長の選出は4月の運営委員会にて平井センター長の継続を新委員で承認を得ることになった。

15. 北陸地区大型設置準備委員長または副委員長に青野茂行氏が推薦された。

16. 使用料金について下記の様に決定した。

前期 4～10月 (A-B)円/分

後期 11～3月 A円/分

ただし、Aとは80円を越えないものとする。Bは20円とする。

17. 細則の変更については次期運営委員会に案を提出して決定する。

昭和48年4月14日

1. 報告事項

- (1) 理学部分室の元如春江さんの紹介。
- (2) 広報委員長より下記の通り報告があった。
  - a. 広報は年3回発刊。
  - b. 計算機センター概要の作成について。

2. 運営委員の自己紹介。

3. センター長は新委員全員が決まる次回運営委員会にて決定する。

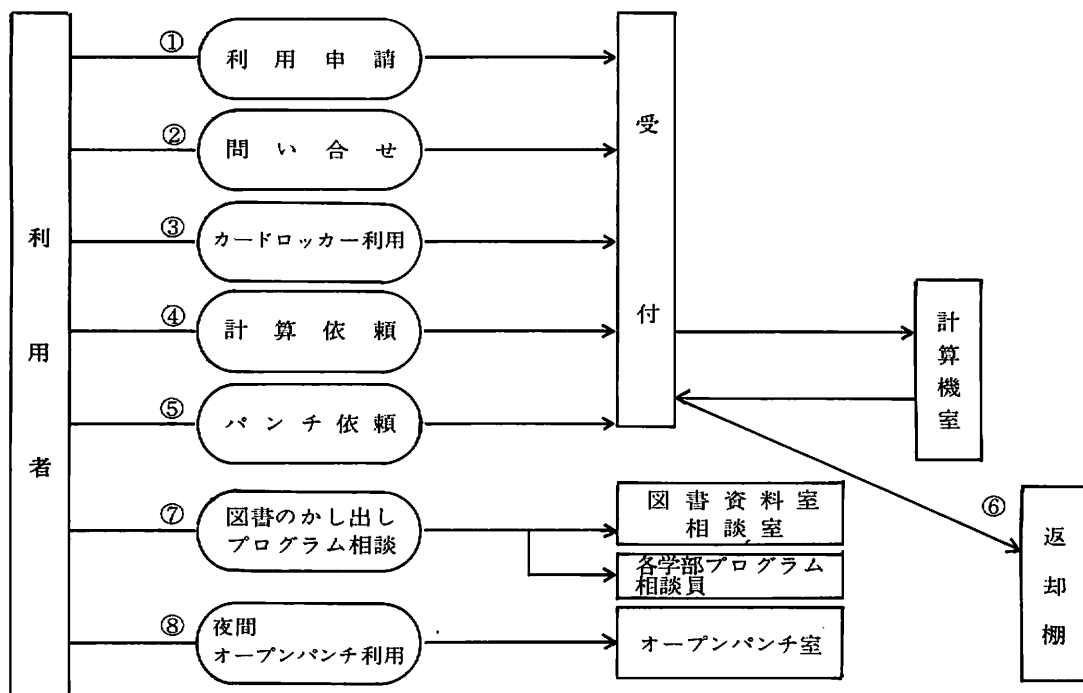
4. 47年度収支決算報告の結果、これを承諾。

5. 48年度予算案は、検討の結果印刷費は60万円とする。又、分室へ140万円振り替えする。  
また、IBMタイプをレンタルにするか買いつりにするかは9月の運営委員会で決める。

6. 計算機センター概要の作成は広報委員を中心に作成することに決定。
7. 北陸地区計算機センター導入準備委員会規程案を検討の結果、一部修正し概要を了承し、細部については工学部事務長に一任し事務局等と検討してもらい次回運営委員会にはかる。
8. 北陸地区計算機センター概算要求書の一部を変更、検討の結果了承。
9. 昭和48年度特別設備要求で、F664 Kカード読取装置を工学部順位と別に要求した旨報告があった。
10. 昭和48年度北陸地区計算機センター概算要求書の富山大学、福井大学分については、学長よりの公文書で依頼する。

——センターから——

## 計算機利用の手順



- ① 計算機を利用される方は、課題承認申請書に記入のうえ、センター受付または、理学部分室まで提出して下さい。課題が登録された時点で使用可能となります。
- ② 計算機利用にあたっての質問、大型計算機センター利用に関する事項、その他一般の問い合わせがありましたら受付まで申し出て下さい。
- ③ センターにてカードを保管される方は、必ずカード保管ラベルをはって所定の位置に保管して下さい。なお、保管ラベルは受付にあります。
- ④ 計算依頼される場合は、コントロールカードを指定の位置につけて受け付まで提出して下さい。
- ⑤ 本センターではパンチ依頼も受けつけていますので申し込み書に記入のうえプログラムと共に提出して下さい。なおパンチ料はカードを含めてプログラム1行につき3円、データは2円です。
- ⑥ 計算機にかけられたプログラムは、受付を通して課題番号下2ケタの数の棚に返却されます。
- ⑦ プログラムに関する質問がありましたら～頁記載のプログラム相談員まで申し出て下さい。